三笠市のコミュニティ・スクール（学校運営協議会）

　　２０１１．８

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）とは・・・？

平成１６年の９月にコミュニティ・スクール（学校運営協議会）が制度化されて以来、コミュニティ・スクールの指定状況は３２都府県７８９校（平成２３年４月１日現在）となっています。なお、三笠市のコミュニティ・スクール（学校運営協議会）は、北

海道初の取組となります。

○仕組み［文部科学省資料より］

　　・指定された学校に「学校運営協議会」が設置され、教育委員会から任命された

保護者や地域の皆さんが、一定の権限と責任をもって、学校の様々な課題解決に

参画していく組織です。

○主な役割

　　・学校運営協議会の主な役割は３つあります。

　　　　①学校長の作成する学校運営の基本方針を承認します。

　　　　②学校運営に関する意見を教育委員会又は学校長に述べられます。

　　　　③教職員の任用に関して教育委員会に意見が述べられます。

　　　　　　※学校運営協議会に人事権があるわけではありません。

　　　　　　※他都府県では、地域の実情に応じた多様な運用が見られます。

導入の目的（三笠市が目指すところ）

　　三笠市が「コミュニティ・スクール（学校運営協議会）」の導入を決めた背景には、今年度行われた学校統合の影響による地域との希薄化の懸念があり、旧美園小・新幌内小・幾春別小校区の保護者や地域住民が一日も早く統合校に対する愛着心を育み、地域の学校として認知されるよう、何らかの方策を講じる必要があると考えました。

　　平成17年度より岡山小・萱野中では小中一貫教育を実施していますが、中１ギャップの解消・中学校英語科へのスムーズな接続・落ち着いた学習環境の維持・９年間かけて子どもを育てるという教職員の意識の芽生えなど多くの効果が挙げられています。とりわけ地域の学習素材や人材を活用することが、学習効果を高めることは実践の中で評価されています。

　　学校運営協議会制度を導入することで、地域の学習素材や人材の活用をさらに組織的に展開・サポートすることができ、子どもを育てる環境の整備・充実を図ることができる。また、地域が一体となって子どもたちを育んでいくことで、「理想的な学校づくり」に貢献し、「小中一貫コミュニティ・スクールの推進」につながっていくと考えています。

小中一貫コミュニティ・スクール

「小中一貫教育」も「コミュニティ・スクール（学校運営協議会）」も学校改善のための手段の一つです。三笠市では、「小中一貫教育」をさらに充実させるためにコミュニティ・スクール制度を取り入れて推進していきます。

三笠市におけるコミュニティ・スクール（学校運営協議会）とは・・・？

○仕組み

　　・学校における教育活動がスムーズに展開されるよう、保護者や地域住民が中心

となり、教育活動に協力していく組織です。期待されることとしては、学校応援

団としてのはたらきや小中一貫教育に資するはたらき、また、地域に向けて様々

な情報を発信していくことなどが挙げられます。

○主な役割

　　・三笠市でも主な役割を３つ設定しました。

　　　　①学校長の作成する学校運営の基本方針に対して助言をします。

　　　　②学校運営に関する意見を教育委員会又は学校長に述べられます。

　　　　③「学校の教育活動のより一層の充実」をサポートします。

編　集　後　記

　コミスク通信では、準備委員会などで協議されたことなどを中心に、コミスク関連の様々な情報をできるだけわかりやすく伝えていきたいと思います。月一回程度の発行となります。

「コミスク設置は大きな変革のチャンス」

コミスク設置は、学校改善のための一つの手段として、現段階では一番効果のある制度とされています。

子どもが、地域が、学校がより良く

変容していくための制度と理解して

いただき、ご協力をよろしくお願い

いたします。

発行日：平成２３年８月２５日

発行者：三笠市立三笠中学校

　　　　学校長　吉永　洋

文　責：三笠市立三笠小学校

　　　　教　諭　高田　徹